

令和6年度第2回臨時理事会議事録

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

- 1 日 時 令和6年11月11日（月曜日）
11時00分から12時00分まで
- 2 場 所 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団事務局共用会議室
- 3 理事現在数 7名
- 4 定 足 数 4名（理事の過半数の出席をもって成立）
- 5 出 席 者 7名（理事以外を含む）
理 事 5名
（理事長）塩見清仁
（常務理事）越秀幸
（理事）中川冷子
延與桂（Web出席）、上代圭子（Web出席）
監 事 2名
飯塚幸子、中山正雄
- 6 議 題
第1号議案 デフリンピック準備運営本部契約・調達案件等に係る理事会への
付議基準の策定について
第2号議案 評議員の辞任に伴う評議員候補者の推薦について

7 議事に至るまでの経過

定刻となり、出席予定者が全員揃ったため、理事会を開会した。議事に入るまで、河野事務局長が進行役を務めた。冒頭、当理事会は東京都スポーツ文化事業団理事会会議規程第7条に定める定足数を満たし、有効に成立する旨を報告し、定款第32条に基づき理事長が議長を務める旨を説明した。

これを受け、塩見理事長が議長として、開会を宣言した。定款第34条により、議事録署名人は出席した理事長及び監事が務めることを確認し、議事を開始した。

なお、本理事会は Web 会議システムを併用して開催しており、Web 会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時適確な意見交換が互いに出来る状態となっていることを開会前に確認している。

8 議事の経過及び結果

第1号議案 デフリンピック準備運営本部契約・調達案件等に係る理事会への付議基準の策定について

(1) 議案説明

議長が事務局に対して本議案の説明を指示し、板倉シニアマネージャーが説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、特段の発言はなかった。

(3) 決議

第1号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

第2号議案 評議員の辞任に伴う評議員候補者の推薦について

(1) 議案説明

議長が事務局に対して本件の説明を指示し、河野事務局長が説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、特段の発言はなかった。

(3) 決議

第2号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

9 報告事項

東京2025デフリンピック大会準備状況について、北島シニアマネージャー、板倉シニアマネージャーから、配布した資料をもとに報告を行った。説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、以下の発言があった。

(質問) 延與理事

ボランティアの募集について、東京都と事業団の役割分担について確認したい。

(回答) 板倉シニアマネージャー

東京都が募集、選定を行い、事業団が研修や配置を行う。

(質問) 延與理事

以前、参加者の参加があまり見込めない競技があると聞いたが、現状を伺いたい。

(回答) 北島シニアマネージャー

今後増えるかもしれないという前提の元だが、ハンドボールの男子は参加できる人数まで選手を発掘することができているが、女子はチームの組成には厳しい。テコンドーは出たいという人は男女ともにいるが、参加のレベル

に問題ないか確認していく。射撃も同様である。チームよりも個人競技には出場の可能性がある。

(回答) 松本マネージャー

レスリングの女子は発掘できていないが、男子は何階級か選手が発掘出来ており、連盟も努力している。

(意見) 延興理事

1964年のパラリンピックも障害者スポーツのきっかけとなったのでぜひ取り組んでいただきたい。また、ボランティア募集に関する役割分担についても承知した。抽選と応募要領にもあるが、経験なども生かせるように都に伝えてほしい。

(質問) 中山監事

ボランティアについて、ウェアは貸与するとあるがデザインは既に決まっているか。

(回答) 板倉シニアマネージャー

現在調整中である。

(質問) 飯塚監事

細かいが、資料の中には西暦で表記されているものと和暦で表記されているものがある。決まりはあるか。

(回答) 北島シニアマネージャー

都で使用する資料などは、和暦を使っているが、特に決まりはない。今後、資料を出す際には、統一するよう注意していく

10 その他

その他、事業団の運営全般に関して意見・質問を求めたところ、特段の発言は無かった。

以上をもって理事会の議事を全て終了したため、12時00分議長が終了を宣言し、散会した。